

エコアクション21 環境経営レポート

レポート対象期間:2024年4月～2025年3月



宇都宮事業所による除草作業
ビフォー・アフター

2025年 7月 1日作成

労働者協同組合こらぼワーク
(旧:企業組合とちぎ労働福祉事業団)

【 目 次 】

目 次	1
1. 組織の概要	2
1) 事業者名及び代表者名	2
2) 法人設立年月日	2
3) 資本金	2
4) 所在地	2
5) 責任者及び事務局	2
6) 連絡先	2
7) 事業活動の内容	2
8) 事業規模	2
2. 対象範囲（認証、登録範囲）	
1) 適用事業範囲	2
2) EA-21推進組織図	4
3. 環境方針	5
1) 環境負荷の調査結果と取組み状況まとめ	6
2) 環境への取組自己チェックまとめ	7
4. 環境目標	9
5. 環境活動計画及び取組み結果とその評価、次年度の取組み内容	10
6. 環境目標の実績	11
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	13
8. 代表者による全体評価と見直し	16

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

労働者協同組合こらぼワーク（旧：企業組合とちぎ労働福祉事業団）
理事長 佐藤 賢二

2) 法人設立年月日

1990年 4月 3日

3) 資本金

35,310,000円

4) 所在地

本部 〒321-0152 宇都宮市西川田7丁目1番2号
宇都宮事業所 〒321-0153 宇都宮市北若松原1丁目7番16号
小山事業所 〒323-0808 小山市出井1523-19 協栄流通(株)小山物流センター内

5) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者 : 専務理事 田中 義博
EA-21事務局 : 管理部 村田 厚子

6) 連絡先

連絡担当者 : 村田 厚子 (EA-21事務局)
TEL : 028-645-5561
FAX : 028-659-4959
E-mail : info@kyoudou.net
URL : <http://www.kyoudou.net>

7) 事業活動の内容

- ・一般廃棄物収集・運搬業、産業廃棄物収集・運搬業
- ・建築物清掃業・建築物環境衛生管理業
- ・便利屋サービス、市民生活サポート事業
- ・総務・経理サポート事業
- ・福祉用具貸与等事業
- ・軽印刷事業
- ・倉庫内請負業務

8) 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	297	292	306
従業員	人	56	59	58
床面積	m ²	150.84	150.84	150.84

2. 対象範囲（認証、登録範囲）

1) 適用事業範囲【7）の全ての事業活動と以下の全ての組織を対象としている】

本部	栃木県宇都宮市西川田7丁目1番2号
宇都宮事業所	栃木県宇都宮市北若松原1丁目7番16号
小山事業所	栃木県小山市出井1523-19

ア) 許可の内容

事業区分	許可区域	許可番号	許可年月日	有効年月日
一般廃棄物収集運搬業	宇都宮市	第10号	2023.07.04	2025.07.03 まで
	上三川町	第1033号	2024.11.01	2026.10.31 まで
	壬生町	第2号	2025.05.01	2027.04.30 まで
	小山市	第1-41号	2024.04.01	2026.03.31 まで
	栃木市	第14号	2024.04.02	2026.04.01 まで
	下野市	第7-6号	2025.04.01	2027.03.31 まで
	野木町	第41号	2025.05.01	2026.03.31 まで
産業廃棄物収集運搬業 (積替え・保管を除く)	栃木県	0900133488	2022.03.07	2027.03.06 まで

収集運搬する廃棄物の種類	
一般廃棄物	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ等
産業廃棄物	廃プラスチック類(水銀使用製品産業廃棄物を含む)、木くず、紙くず、金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む)、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む)

イ) 施設、設備等の状況

廃棄物収集運搬保有台数

許可車両	車種	主なエリア	最大積載量
廃棄物収集 合計 7台	いすゞ / 塵芥車	県央	2,400Kg
	いすゞ / 塵芥車	県南	1,950Kg
	いすゞ / ゲート車	県央	2,000Kg
	スズキ / キャブオーバ	県南	350Kg
	いすゞ / キャブオーバ	県央	1,500Kg
	ニッサン / キャブオーバ	県央	850Kg
	いすゞ / キャブオーバ	県南	2,000Kg

ウ) 受託した産業廃棄物の収集運搬量実績

種類	2022年度	2023年度	2024年度
廃プラスチック類	13.44 t	11.65 t	11.09 t
廃電気機械器具	-	-	2.45 t
金属くず	1.48 t	2.18 t	1.18 t
混合廃棄物(廃プラ・金属)	-	-	0.09 t
管理混合廃棄物	-	-	2.53 t
合計	14.92 t	12.83 t	17.34 t

エ) 受託した一般廃棄物の収集運搬量実績

種 類	2022 年度	2023 年度	2024 年度
可燃ごみ	385.14 t	355.02 t	372.59 t
不燃ごみ	3.77 t	4.22 t	4.28 t
資源ごみ(ビニプラ他)	31.92 t	34.57 t	30.57 t
資源ごみ(古紙)	83.60 t	78.87 t	80.66 t
資源ごみ(生ごみ)	22.05 t	30.15 t	26.89 t
資源ごみ(剪定枝)	19.49 t	3.11 t	1.10 t
合 計	545.97 t	505.94 t	516.09 t

2) 推進組織図

EA-21推進組織図

承認(理事長)	作成(EA責任者)
佐藤	田中

2009年 6月 2日	制定
2014年 4月 1日	改定
2015年 10月 1日	改定
2016年 4月 1日	改定
2017年 9月 1日	改定

代表者(理事長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA-21責任者を任命する 2. 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する 3. 環境方針を制定する 4. 環境経営システムの構築・実施に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する 5. 環境目標、環境活動計画及び環境活動レポートの承認
EA-21責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA-21の要求事項に適合したシステムを構築し、実施し、かつ維持されることを確実にする 2. 理事長による見直しのための情報として、その構築・実施に関する情報を理事長に提供する 3. 利害関係者からの苦情、要望等の処理と連絡 4. 環境への負荷及び取組みへの自己チェックの承認 5. 環境目標及び環境活動計画の策定 6. 環境活動レポート、環境経営マニュアルの作成 7. 環境関連法規等の取りまとめ遵守状況チェック表の承認 <p style="font-size: small;">環境問題の解決に役立つ新商品・サービスの事業開発・提供(担当責任)</p>

EA-21委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムに関する経営資源の合理的・効果的な実施を図り、目的を達成するために、3カ月に1回招集して開催し、必要に応じて委員を招集し臨時に開催することもある 2. 環境目標及び環境活動計画の結果確認と、EA-21に関する審議を行う 	EA-21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA-21責任者を補佐し、環境経営システムに関する実務全般を所管する 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の作成 4. 教育、訓練計画の策定と実施(緊急時対応訓練、テスト含む) 5. 環境文書及び記録の作成と管理 6. EA-21委員会開催時には「EA-21委員会議事録」を作成する <p style="font-size: small;">事務用品におけるグリーン購入の促進(担当責任)</p>
-----------------	---	-----------------	---

小山・宇都宮事業所・本部

1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

小山事業所	収集運搬	清掃・ビルメンテナンス	福祉用具貸与・販売	事務
燃料使用量の削減(担当責任) 廃棄物削減とリサイクル化(担当責任) 電気使用量の削減(担当責任)	燃料使用量の削減(担当責任) 廃棄物削減とリサイクル化(担当責任)	化学物質の管理の徹底(担当責任) 環境負荷を低減するメンテナンスシステムの提案力強化(担当責任) 市民、NPOと連携した環境学習の実施、情報提供(担当責任)	燃料使用量の削減 廃棄物削減とリサイクル化	電力使用量の削減(担当責任) 水資源使用量の削減(担当責任) 廃棄物削減とリサイクル化
<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般廃棄物の収集運搬(可燃物、不燃物、粗大ごみ) 2. 現場設備機器の管理 3. 人材配置計画 4. 帳簿類の作成と管理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般廃棄物の収集運搬(可燃物、不燃物、粗大ごみ) 2. 産業廃棄物の収集運搬(廃プラ、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず) 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現場清掃活動 2. 使用薬品の手配 3. 現場設備機器の管理 4. 人材配置計画 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具貸与・販売 2. 利用者個人帳簿類の作成と管理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務・経理業務(当組合) 2. 帳簿類の作成と管理 3. 総務・経理サポート業務 4. 軽印刷事業 5. 貸し会議室業

3. 環境方針

環境経営方針

<基本理念>

企業組合とちぎ労働福祉事業団は、「人と地域に役立つ仕事おこし」を経営理念とし、まちづくりに貢献することを目指して事業活動を進めてきました。持続可能な循環型社会を形成することが当組合の責務であると考え、事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努めます。

<環境経営方針>

1. 当組合は、事業活動が環境に与える影響を把握し、環境負荷を軽減させるため環境目標を設定し、定期的な検証を行い、継続的な改善に努めます。
2. 事業活動に関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 業務用車両のエコドライブ及び走行距離の削減による、燃料の使用量抑制、二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。
4. 作業全般の効率化を図ることにより、電力・水資源の使用量を削減します。
5. 清掃用資材の使用量削減に努め、環境配慮型製品の比率を高めるとともに、お客様に対して環境負荷を低減するメンテナンスシステムの提案力を強めます。
6. 環境問題の解決に役立つ新規事業の開発に努めます。
7. 環境、循環型社会形成をテーマに活動する団体を支援するとともに、環境学習・啓発活動に努めます。
8. 当組合で働くすべての職員にこの環境経営方針を周知し、職員一人ひとりが自主的に活動に取り組むよう、教育を進めます。

策定 2008年 1月 20日

改正 2009年 6月 9日

最終改正 2022年 4月 15日

企業組合とちぎ労働福祉事業団
理事長 佐藤 賢二

1) 環境負荷の調査結果と取り組み状況まとめ

環境負荷削減の目標及び環境活動計画を策定するため、過去3年間の環境負荷実績の調査結果まとめは下表の通り。

二酸化炭素排出係数は、電気については、東電2020年度（調整後）の0.443kg-CO2/kWhを採用した。

環境への負荷		単位	2022年	2023年	2024年	
エネルギー使用量	電力(東京電力)	kwh	19,179.80	19,007.10	17,075.70	
	電力(自社/太陽光発電)	kwh	3,387.00	3,139.10	2,874.40	
	ガソリン	ℓ	5,500.52	5,210.71	6,005.13	
	軽油	ℓ	11,072.92	11,111.93	11,654.80	
	灯油	ℓ	217.66	214.07	157.55	
	CO2 排出量	kg-CO2	50,367.97	49,862.86	52,094.72	
受託した産業廃棄物の処理量	産業廃棄物	収集運搬量	t	14.92	13.83	17.34
		中間処理用	t	0.000	0.000	0.000
		最終処分量	t	0.000	0.000	0.000
		中間処理後の処分量	t	0.000	0.000	0.000
	一般廃棄物	収集運搬量	t	545.97	505.94	516.09
		中間処理用	t	0.000	0.000	0.000
		最終処分量	t	0.000	0.000	0.000
		中間処理後の処分量	t	0.000	0.000	0.000
	再生資源	収集運搬量	t	0.000	0.000	0.000
自社の廃棄物排出量	一般廃棄物		t	0.750	0.733	0.677
	産業廃棄物	熱回収	t	0.135	0.070	0.075
		中間処分量	t	0.000	0.000	0.000
		最終処分量	t	0.000	0.000	0.000
	産業廃棄物(特別管理)	熱回収	t	0.000	0.000	0.000
		中間処分量	t	0.000	0.000	0.000
		最終処分量	t	0.000	0.000	0.000
	水使用量	上水		m ³	63	68
工業用水		m ³	0	0	0	
地下水		m ³	83	71	66	
化学物質使用量	アミノエタノール(PRTR対象)		kg	0	0	0

2) 環境への取組自己チェック

2022 年度より、産業廃棄物処理業者向け 2017 年度版ガイドラインによる自己チェック表を使用している。

[廃棄物処理に関する取組]

施 策	チェック 結果点数	満点の場合の 点数	実施度 合	前年実 施度合	実施度合の低い施策項目
総合結果	86	116	74%	71%	
1. 廃棄物処理の事業活動に関する項目	86	116	74%	71%	
1) 受託、または受領した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	44	60	73%	73%	
2) 産業廃棄物の処理などにおける環境配慮	38	56	75%	68%	

[その他の環境への取組]

施 策	チェック 結果点数	満点の場合の 点数	実施度 合	前年実 施度合	実施度合の低い施策項目
総合結果	180	194	93%	92%	
1. 事業活動へのインプットに関する項目	104	104	100%	100%	
1) 省エネルギー(アウトプットである温室効果ガスの排出抑制にも効果がある取組)	56	56	100%	100%	
2) 省資源	20	20	100%	100%	
3) 水の効率的使用及び日常的な節水	8	8	100%	100%	
4) 化学物質使用量の抑制及び管理	20	20	100%	100%	
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	45	50	90%	90%	
1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止	8	12	67%	67%	・ドライブレコーダーなどを導入し、車両の運転における燃料効率の改善
2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	34	34	100%	100%	
3) 排水処理	3	4	75%	75%	・グリストラップの定期的な清掃
4) その他生活環境に係る保全の取組など	0	0	-	-	
3. 製品及びサービスに関する項目	14	16	88%	88%	

1)グリーン購入(環境に配慮した物品などの購入、使用など)	12	14	86%	86%	・社用車の低燃費、低公害車への切り替え
2)製品及びサービスにおける環境配慮	2	2	100%	100%	
4. その他	17	24	67%	67%	
1)生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	2	4	50%	25%	・敷地内、壁面、屋上などの緑化
2)環境コミュニケーション及び社会貢献	14	18	78%	78%	・同業他社等による循環型社会形成のための情報収集、取組への反映 ・環境活動を行うサークル等への支援
3)施主・事業主における建築物の増改築、解体などに当たっての環境配慮	1	2	50%	50%	・改築、修繕などにおける、環境負荷の少ない材料の積極的活用

4. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より、以下のような目標を設定した。

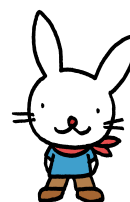
環境目標	基準値	2024 年度	短期目標 2025 年度	中期目標 2026 年度
1. 二酸化炭素排出量	2023 年度 49,862.9kg-CO2	前年比 1%削減 49,364.3kg-CO2	前年比 1%削減 48,870.7kg-CO2	前年比 1%削減 48,382.0kg-CO2
1. 電気使用量の削減	2023 年度 19,007.1kw	前年比 1%削減 18,817.0Kw	前年比 1%削減 18,628.8Kw	前年比 1%削減 18,442.5Kw
2. 燃料使用量の削減	二酸化炭素排出量（軽油） 2023 年度 11,111.9L	前年比 1%削減 11,000.8L	前年比 1%削減 10,890.8L	前年比 1%削減 10,781.9L
	二酸化炭素排出量（ガソリン） 2023 年度 5,210.7L	前年比 1%削減 5,158.6L	前年比 1%削減 5,107.0L	前年比 1%削減 5,055.9L
2. 廃棄物の削減とリサイクル化	自社排出量の削減 2020 年度実績 799 kg	2020 年度排出量 維持 799 kg	2020 年度排出量 維持 799 kg	2020 年度排出量 維持 799 kg
	種類別排出量情報の提供顧客数 毎年 1 件以上増加	79 件	80 件	81 件
3. 水資源使用量の削減	年間水資源総使用量 2021 年度実績 153 m ³	2021 年度使用量 維持 153.0 m ³	2021 年度使用量 維持 153.0 m ³	2021 年度使用量 維持 153.0 m ³
4. 化学物質の管理の徹底	対象物質の購入使用量 使用しない	使用しない	使用しない	使用しない
5. 環境負荷を低減するメンテナンスシステムの提案力強化	導入顧客数 2019 年度実績 1 件	年間 1 件以上 提案	年間 1 件以上 提案	年間 1 件以上 提案
6. 環境問題の解決に役立つ新商品・サービスの事業開発・提供	商品・サービス品目数 2019 年度実績 0 件	新規 1 品目 開発	新規 1 品目 開発	新規 1 品目 開発
7. 一般市民、NPOと連携した環境学習の実施、情報提供	環境系 NPO 団体数 2019 年度実績 2 団体	年間 1 団体	年間 1 団体	年間 1 団体

5. 環境活動計画及び取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

評価：○実施済、△一部実施、×未実施

	環境活動計画	結果	評価	次年度取り組み
電気使用量の削減 (CO2の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ①自然エネルギーの活用による空調使用時間の削減 ②空調温度管理の徹底、スポット暖房等の積極的利用 ③未使用時の電気消灯徹底、電気器具、換気扇等の不使用時停止 ④OA機器・照明器具・電気製品の省エネルギー製品への切替え ⑤太陽光発電設備の活用 	4月以外は、猛暑が続いた夏時期を含め前年を下回り、目標を達成することができている。	○	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤継続する。 全熱交換器により換気を行いつつ、空調を使用する。
燃料使用量の削減(軽油、ガソリン) (CO2の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ①アイドリングストップの徹底 ②効率の良い配車スケジュールの検討実施 ③車両の燃料使用量と走行距離のチェック ④「エコドライブ」の職員への周知、車両に掲示 ⑤アイドリングストップ装置装着車の導入検討、低燃費車両への計画的切替 	<p>エコドライブ・アイドリングストップなどは、昨年に引き続き継続できている。</p> <p>稼働体制の変更などの影響もあり、軽油・ガソリン共に目標を達成することができなかった。</p> <p>小山事業所では、車両に入れ替えに向けての動きを作ることができた。</p>	△	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤継続する 効率のよい配車スケジュール管理に努める。 車両買換えに当たっては低燃費車両への切換えを図る。
廃棄物削減とリサイクル化 ①自社排出量の削減 ②顧客に対する排出量情報の提供件数	<ul style="list-style-type: none"> ①ビニール・プラスチック類の再生・利用、リサイクル化 ②生ゴミリサイクルの拡大、循環型農業をめざす農業者との連携強化 ③その他の新規のリサイクルルートの開拓(発泡スチロール他) ④収集運搬時の分別回収の強化(顧客への分別提案、要請) ⑤顧客への詳細な種類別排出量情報の提供 ⑥顧客の排出量削減に対する提案、環境マネジメントへの協力支援 	<p>昨年同様に商品梱包材廃棄のタイミングで目標を達成することができない月もあったが、年間では目標を達成することができている。</p> <p>顧客に対する種類別排出量情報提供について、目標を達成した。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> 継続する 包装資材等のごみ排出量を減らす方法を検討する。 顧客に対する排出量情報について、新規顧客獲得時には特に提供に務める。
水資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①車両の洗車記録の確認、洗車時間の短縮化 ②井戸水の積極的利用、雨水の利用検討 ③事務所における節水策の検討 	職員数の減少により、水資源使用量も抑えることができた。合わせて節水も継続して意識することで目標を達成出来た。	○	<ul style="list-style-type: none"> 継続する 現状の使用量を維持する。 雨水の利用方法を検討する。
化学物質の管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ①種類、使用量、保管量の経時的把握、管理の徹底 ②使用量の削減 ③環境負荷の少ない薬剤に関する研究調査、計画的な切り替え 	使用していない。	○	<ul style="list-style-type: none"> ①、②継続する ハクリ剤の使用量の削減に努める。

環境負荷を低減するメンテナンスシステムの提案力強化	<ul style="list-style-type: none"> ①環境配慮型清掃資材に関する調査、顧客への導入提案 ②環境負荷の少ないメンテナンス方法の研究開発、顧客への導入提案 ③建築営繕業務における省エネルギー設備への切替提案、施工対応 	前年に引き続きエアコン洗浄清掃作業を積極的に受託した。照明交換作業の受注時は、LED照明への切り替えの提案を行った。	△	継続する 環境負荷の少ないメンテナンス方法の研究開発、提案に努める。
環境問題の解決に役立つ新商品・サービスの事業開発・提供	<ul style="list-style-type: none"> ①環境問題解決に役立つ新商品・サービスの研究、開発 ②新商品・サービスの商品化、顧客へのシステム変更の導入提案 ③自然エネルギーを積極的に活用した環境共生住宅等の企画、施工 ④店舗・オフィスの省エネルギー化への提案能力の向上 	総務経理サポート部門で、クラウド型の情報共有ツール [MyKomon] を導入することで、顧客への訪問回数を減らす取り組みを開始した。	○	継続する 今後も新商品・サービスの研究開発に努める。
市民、NPO と連携した環境学習の実施、情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境をテーマとして活動している NPO との交流、活動支援 ② 自然環境エネルギーの活用等をテーマとした環境学習会の企画及び実施 ③ 放射能汚染等に関する学習及び調査の継続、市民等への情報提供 	とちぎ環境・みどり推進機構への寄付を継続している。環境系 NPO 法人との交流や学習会については、実施することができなかった。	△	継続する 環境問題に関する職員学習を強化し、新たな連携先の開拓に努める。



省エネ技術の研究をします。

6. 環境活動の実績

1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	目標値	24 年度	判定
二酸化炭素排出量 前年度排出量 1%削減	49,364.3 kg-CO2	52,094.8 kg-CO2	

※ 二酸化炭素排出係数は地球温暖化対策法にて東電 2018 年度の 0.468kg（一般電気事業者）を使用している。

1-1) 電力使用量の削減

取組項目	目標値	24 年度	判定
電力使用量 前年度使用量 1%削減	18,817.0 Kwh	17,075.7 Kwh	


1-2) 燃料使用量の削減

取組項目		目標値	24 年度	判定
トラック・営業車 燃料使用量 ①前年度使用量 1%削減 ②前年度使用量 1%削減	①軽油	11,000.8 L	11,654.8 L	
	②ガソリン	5,158.6 L	6,005.1 L	


2) 廃棄物の削減とリサイクル化

取組項目		目標値	24 年度	判定
廃棄物の削減と リサイクル化	① 自社排出量の削減 2020 年度実績 維持	799 kg	752kg	
	② 顧客に対する種類別排出 量情報の提供 毎年 1 件以上増加	79 件	80 件	


3) 水資源使用量の削減

取組項目	目標値	24 年度	判定
水資源使用量 2021 年度使用量 維持	153.0m ³	124.0m ³	


4) 化学物質の管理の徹底

取組項目	目標値	24 年度	判定
対象物質の購入使用量 使用しない	現状維持 2.0kg(アミノエタノール)	0.0kg	


5) 環境負荷を低減するメンテナンスシステムの提案力強化

取組項目	目標値	24 年度	判定
提案顧客数 2027 年度実績 1 件以上提 案	年間 1 件以上提案	3 件	

6) 環境問題の解決に役立つ新商品・サービスの事業開発・提供

取組項目	目標値	24 年度	判定
商品・サービス品目数 2017 年度実績 1 品目	新規 1 品目	1 品目	

7) 一般市民、NPOと連携した環境学習の実施、情報提供

取組項目	目標値	24 年度	判定
環境系 NPO との連携 2017 年度実績 1 団体	年間 1 団体	年間 0 団体	

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 当社が遵守すべき主な法規制の一覧表

当社に関連する主な法規制は下表の通り。

法規制等	適用条項等	当組合の対応	遵守状況
・廃棄物処理法 ・関係する市の環境基本条例	H7条 一般廃棄物の収集・運搬業の許可	①許可書確認（4月/年1回） 2年ごとの更新	許可証の保管 有効期限の確認
	H14条 産業廃棄物の収集・運搬業の許可	①県知事許可書確認（4月/年1回） 5年ごとの更新	許可証の保管 有効期限の確認
	H12条 排出事業者との収集・運搬、処分の個別委託契約の締結	③委託契約書の締結確認（4月/年1回）	契約書の保管 ・契約の更新
	H12条-3-2 管理表（マニフェスト）の交付	④記載内容・排出事業者への報告（1回/月）	送付の徹底
	・産業廃棄物管理表（マニフェスト）、所定事項を記述した帳簿の5年間保管	⑤保管確認（4月/年1回）	帳簿確認
	・廃棄物の分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の適正処理の遵守	⑥適正処理の遵守状況確認（1回/月）	担当者からの聞き取り 及び書類点検にて確認
	H14条-13 処理困難通知	適正な処理が困難・困難となる恐れのある時は、遅延なく事業者に書面で通知（10日以内）	現在該当なし
・道路交通法 ・道路運送車両法 ・道路法	①安全運転義務 ②交通公害防止の交通規制の遵守 ③車両の点検整備の義務 ④交通の危険防止（車両の大きさ・重量・車両の通行方法）	・安全運転 ・交通公害防止の交通規制遵守 ・車両の点検整備の徹底 ・車検等、法令に基づく車両管理	担当者からの聞き取り 及び書類点検にて確認
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	H12条3-1 地方公共団体への協力	・条例に定められた処理施設への運搬	自社で運搬
	H12条3-1, 5, 7, 8 K8条21, 26, 28, 29 産業廃棄物管理表（マニフェスト）	マニフェストの交付、保管（5年間） マニフェスト戻り日の確認（期限内に戻らない場合は県知事に確認）	保存あり
	K8条27 （管理票交付者の報告書）	事業場ごとに、毎年6月30日までに、その年の3月31日以前の1年間において交付した管理票の交付等の状況を当該事業場の所在地を管轄する都道府県知事に提出する。	提出済み R7.5.30報告
資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）（パソナリサイクル法）	H4条 関係者の責務	指定業者・各メーカーに処理依頼	現在廃棄なし
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律「フロン排出抑制法」 2015.4.1改正施行	H16条～H26条 第一種特定製品の管理者が講ずべき措置	第一種特定製品リストの作成 年4回簡易点検を行い記録簿に残す	リスト作成済 記録簿保存
	H41条 第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	廃棄時に、指定業者に依頼し、書面を交付する	現在廃棄なし

	H43条 第一種特定製品廃棄等実施者による書面の交付等		
特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律（家電リサイクル法）	H6条 関係者の責務	長期使用 廃棄の際、指定業者にリサイクル料金を支払う	現在廃棄なし
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	H8条 自動車所有者	使用済みとなった自動車を引取り業者に引渡す	廃棄の際に適正に実施
	H73条 再資源化等預託金の預託	新車購入時にリサイクル料金を（財）自動車リサイクル促進センターへ支払う。制度施行時に使用中の自動車は最初の車検時までにリサイクル料金を支払う。	預託金支払を確認
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	H4条 事業者の責務 H5条 排出量等の把握及び届出	第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1t以上（特定第一種指定化学物質については0.5t以上）排出した場合、PRTR届出を行う。	適正に実施
毒物劇物取締法	【非届け出者】（業務上取扱者） H11条-1 毒物、劇物の取り扱い	保管場所には鍵をかける 在庫量を記録し、紛失・盗難を防止する	適正に実施
	H12-3 毒物、劇物の表示	貯蔵場所に「医薬用外」と毒物には「毒物」、劇物には「劇物」の文字を表示する 棚に大きく品名を記載し注意喚起する	適正に実施
	H16-2 緊急時の届け出		現在該当なし

自治体の条例

法規制等	適用条項等	当社の対応	遵守状況
栃木県環境基本条例	第6条 事業者の責務	事業活動全般にわたる環境配慮の強化	適正に実施
		廃棄物削減とリサイクル化（分別強化）	適正に実施
		二酸化炭素排出量の削減（車両等の管理）	品目の拡大努力中
		事務用品及びビルメン業務での環境配慮型商品の積極的活用	品目の拡大努力中
		行政施策への積極的協力	積極的に協力
宇都宮市環境基本条例	第5条 事業者の責務	二酸化炭素排出量の削減（車両等の管理） 廃棄物削減とリサイクル化（分別強化）	配慮を強めている
		事務用品及びビルメン業務での環境配慮型商品の積極的活用	品目の拡大努力中
		環境保護活動を行う NPO 等への支援	配慮を強めている
		行政施策への積極的協力	積極的に協力
宇都宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	第1条の4 事業者の責務	廃棄物排出量の削減	適正に実施
		ビルメン業務における環境配慮型商品の活用	品目の拡大努力中
		行政施策への積極的協力	積極的に協力
栃木県生活環境の保全等に関する条例	第3条 事業系一般廃棄物の処理	・分別の徹底 ・自社による運搬、処分場への搬入	適正に実施
	第57条 低公害車の購入等	・車両の新規購入時における低公害車の積極的導入	購入時において積極的に検討
	第58条 自動車の走行量の抑制	・車両の燃料使用料と走行距離の確認 ・効率の良い配車スケジュールの検討実施	配慮を強めている
	第59条 自動車の駐車時における原動機の停止	・アイドリングストップの徹底	配慮を強めている

2) 法令違反、関係機関からの行政指導・是正勧告の有無、

関連法規制の遵守状況確認を毎年1回実施しており、年度内に違反は発生しなかった。関係機関からの行政指導・是正勧告及び訴訟等も発生しなかった。また、地域住民からのクレームもなかった。

8. 代表者による全体評価と見直し

見直し日時	2025年4月17日 13:00～14:00	場所	本部
参加者	佐藤賢二（理事長）、田中義博（EA-21 責任者）、村田厚子（EA-21 事務局）		
インプット情報	情報内容・資料等	理事長による指示事項	
①環境への負荷の自己チェック結果	産廃 2017 年度版ガイドライン「環境への負荷の自己チェック表」で説明。	電気使用量については、昨年度実績を下回ることができており、今後も抑制に努める。 燃料については、灯油の使用量は減ったものの、軽油及びガソリンの使用量が年間通して増加。活動の増加による燃料の使用量をどのように削減していくかを全体として研究・検討していく必要がある。	
②環境への取組の自己チェック結果	産廃 2017 年度版ガイドライン「環境への取組の自己チェック表」で説明。	社用車について、低燃費車など低公害車へ切り替えや適切に整備を行うことと合わせて、車両以外の備品購入に関しても、環境に配慮された商品やサービスの購入や使用が必要である。	
③環境関連法規制等一覧表/遵守状況のチェック結果	「環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況チェック表」（2025.6.1 遵守状況チェック）及び契約書・許可書・マニフェスト・測定結果等で説明。	指示事項なし。	
④環境目標の達成度	2024年4月から2025年3月までの集計結果；実績値/目標値について、「環境目標/活動計画/結果管理表」を下に説明。	基準の変更と現場体制変更の経過もあり、特に燃料については、目標を達成することができていない。一層のエコドライブの実施、ルート等の工夫も必要である。	
⑤環境活動計画の実施状況	「環境目標/活動計画/結果管理表」及び「環境活動計画表」を下に説明。	指示事項なし。	
⑥教育・訓練実施結果	「環境教育・訓練計画/実施結果」で説明。	指示事項なし。	
⑦苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	「外部環境情報記録表」で説明。	指示事項なし。	
⑧緊急事態の準備及び訓練結果	「緊急事態対応手順と訓練結果」で説明（2024年10月の訓練結果を報告）	指示事項なし。	
⑨問題点の是正・予防処置の状況	「環境目標/活動計画/結果管理表」及び「問題点の是正/予防措置報告書」をもとに説明。	指示事項なし。	
⑩前回指示事項の取組結果	環境文書・環境記録をファイリングで確認、「環境活動レポート」を下に説明。	変更の要を認めず。	
指示事項等に対する決定・処置内容	①環境方針	変更の要を認めず。	
	②環境目標	変更の要を認めず。	
	③環境活動計画	変更の要を認めず。	
	④環境経営システム(実施体制を含む)	4月より労働者協同組合こらぼワークへと組織変更した。 法人の体制変更により、25年度のEA-21責任者を五十嵐靖彦とする。	

みんなで継続

